

再び日本を 戦争する国には させません **日本共産党**

アジアで2000万人、日本で310万人の尊い命を奪った侵略戦争の反省にたつて、日本は「戦争はしない」「軍隊はもたない」と憲法で約束し、国際社会に復帰しました。

ところがいま、侵略戦争を正当化するなど、戦後政治の原点を否定する動きとともに、「国防軍」をつくるなど、憲法を変えて日本を戦争する国にしようとする危険な動きが強まっています。

集団的 自衛権

**日本をまもるため？ いいえ！
アメリカと一緒に海外で戦争するためです**

「憲法の番人」といわれる内閣法制局長官を自分と同じ考えの人物にすぐ替え、「解釈改憲」で「集団的自衛権」を行使できるようにしようという安倍政権。ところが歴代の長官から批判や異論が相次いでいます。

第2次・第3次
小泉内閣時
阪田雅裕氏

(国会の憲法論議の)
蓄積を無視していいのか

今年8月まで
山本庸幸氏

半世紀以上議論され、
維持されてきた憲法解釈

第1次安倍内閣時
宮崎礼彦氏

(解釈変更は) やめたほうが
いい、できない

行使容認 異議あり

歴代の法制局長官

折り目

戦時想定 日米訓練 に初参加

墜落事故相次ぐ



10月 滋賀・あいは野で

海外への殴り込み部隊=米海兵隊の垂直離着陸機MV-22オスプレイが、10月に滋賀県高島市の陸上自衛隊あいは野（饗庭野）演習場と高知県で行う日米合同演習に初めて参加します。

オスプレイは開発段階から墜落事故を繰り返し、8月にも米で着陸に失敗し機体が炎上したばかりです。

報道では10月10日に、空中で停止した機体から隊員がロープで降下する「ヘリボーン」作戦、16日の「敵地攻撃」訓練で使用の予定。「戦時想定訓練」（「京都」8月23日）です。危険な訓練は中止すべきです。



日本共産党

近畿民報

発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所
2013年9月号外 No.3

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目15番7号USビル2F
Tel.06(6764)9111 Fax.06(6764)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は
以上の見解を
発表しました。